

佐保会兵庫県支部だより

第38号

明石市大久保町高丘6丁目12-6 岩崎 方
佐保会兵庫県支部事務局 〒674-0057 TEL・FAX 078-935-8748



「イタリア・コモ湖畔」

乾 登美子 (S36文社)

古都 奈良の地に

佐藤 慶子 (S43文英)

観光客も居なくなつた夕暮れ時、遠回りして下宿に帰る途中、興福寺五重の塔をよく訪れたものでした。下から見上げる黒色の塔のシルエットは凛とした佇まいで、見る者を穏やかに癒やしてくれる。静まり返った境内で暫く何をしてもなくじつと想いに耽る。見上げれば威圧感すら感じる。

「ああ、人つてちつぽけだなあ・・・」

四国の地方都市から奈良へ来て、日常生活の中にならぬある歴史文化、建物、風情に触られて深く感動しました。東大寺の裏の下宿先は古い2階建て、お婆さんの一人住まいに、半分傾いたような土間、つかかけを歩いて近くの銭湯へ。雨戸の閉まらぬ2階の窓からは若草山の山焼きが間近に見られ、今にして思えば貴重な経験を数多くしていたなあと思ひ深く思い起こされます。

奈良での勉学や生活の思い出は日頃心の奥にひっそりと溜まっていたのでしよう。夫の転勤で見知らぬ土地に行つて友もない時、なぜか佐保会のことか思い出され、きつとこの地にも奈良の方々のグループがあるはずと本部に電話したこと一度ではなかった。名簿をいただき、直接そのグループの方にお会いしなくても、何かあれば連絡しようと思ひ強く感じました。宝塚に来て女性センターで登録グループの中に「佐保会」の名を見出した時は嬉しくなり、早速連絡しお仲間に入れていただきました。ただ奈良女卒というだけの共通点がこのように人々の心を容易に繋げられるのかと自分でも吃驚したものです。

昭和40年代の学友の多くは地方出身で、素朴で一途で質実剛健という感じでした。寮生活、古びた木造校舎、威厳ある物々しい門衛所など、同じ場所と同じ空気を吸っていたからでしょう。

いにしへの 奈良の都の八重桜

けふ九重に にほひぬるかな

時代や状況は大きく異なるけれども、学生時代の奈良の思い出は今もなおほのかに生き続けていて、何かの時にふっと湧きあがってくるようです。これが心の絆ということでしょうか。きらびやかさは無いものの歴史の詰った重みのある寺々がひっそりと息づく町角に建っていた古き校舎は今は鉄筋となるなど変化はありますが、古都奈良の歴史の中にしっかりと根付いていて、送り出された多くの同窓生が社会で色々な面で大いに活躍なさっていることをひそかに誇りに思っています。

平成26年度 佐保会兵庫県支部総会

平成26年6月15日(日) 生田神社会館

卒寿のお慶び

(昭和20年卒業)

- 内山美智子 様 (理)
- 竹村嘉代子 様 (臨数)
- 正田 純子 様 (理)
- 広崎 登代 様 (家)
- 小川 澄子 様 (理)
- 高山 直子 様 (臨家)
- 西山 しげ 様 (臨家)



平成26年は佐保会設立百周年という節目の年で、本部では式典や国谷裕子氏による記念講演が行われたという報告がありました。因みにその式典で掲げられた題字は川口登美子様(S39家食)によるものです。

卒後55年のお慶び

(昭和34年卒業)

- 八木 幸子 様 (理数)
- 神木 康代 様 (文体)
- 中谷 孝子 様 (文幼)
- 山村紀美子 様 (家住)
- 長岡三佐子 様 (文国)
- 中島 悦子 様 (文地)
- 田岡 桂子 様 (文地)
- 中村 典子 様 (理数)
- 会沢 祥子 様 (家食)
- 龍田 文子 様 (家食)
- 橋本 裕子 様 (文幼)
- 永吉 和子 様 (理化)
- 森安 澄 様 (文英)
- 光長紀美子 様 (理生)
- 齋藤美智子 様 (理数)
- 高山 翠 様 (文英)
- 塩谷 迪代 様 (家食)
- 藤原 絢子 様 (家食)
- 福本 志津 様 (家住)



平成26年に卒寿を迎えられた方は左記の7名おられます。そのうちのおひとり、内山美智子様がお祝いを受けられました。お元気で若々しく、模範にすべき人物をまたひとり見つけた思いがしました。

次に卒後55年のお祝いには、長岡三佐子様、龍田文子様、齋藤美智子様、塩谷迪代様が登壇され、それぞれ近況や感想を述べられました。会食時には、同年代同士で在学時の出来事や現在の話題で盛り上がりました。

午後は佐保会設立百周年記念の支部特別企画として、第一部「映像でたどる支部会員」と題して、高林幸子様(S33文英)のナレーションによる歴代支部会員の紹介がありました。そして第二部は、佐保会前理事長の川崎和子様による講演が行われました。これらの内容につきましては次のページで詳しく紹介しております。

最後に全員で女高師の校歌を斉唱しておひらきとなりました。

(村井 記)

会次第

1. 開会のことば
2. 支部長あいさつ
3. 新入会員紹介
4. 議長選出
5. 議事
 - ① 平成25年度事業報告
 - ② 平成25年度収支決算報告および監査報告
 - ③ 平成26年度役員承認および紹介
 - ④ 平成26年度事業計画(案)
 - ⑤ 平成26年度収支予算(案)
6. 記念品贈呈
7. 報告
 - ① 卒寿のお祝い(昭和20年卒業 7名)
 - ② 卒後55年のお祝い(昭和34年卒業 19名)
8. 会食
 - ① 一般社団法人佐保会
 - ② 佐保会設立百周年記念 支部特別企画
 - ③ 第一部 映像でたどる支部会員
 - ④ 「書田よし」21世紀への伝言」パート2
 - ⑤ 第一部 講演
 - ⑥ 「奈良女高師卒の先輩の後塵を拝して」
 - ⑦ 佐保会 前理事長 川崎和子氏
 - ⑧ 女高師校歌斉唱
 - ⑨ 閉会のことば
9. 1110

- 哀悼 -

- 浅田 きよ 様 (S13 理) H11. 4. 13没
- 月森 坤子 様 (S30 文国) H24. 1. 7 没
- 中村 俊子 様 (S9 文) H24. 5. 27没
- 丁子はつみ 様 (S16 B家) H25. 4. 24没
- 浅見美智子 様 (S31 文国) H25. 7. 14没
- 増田 茅子 様 (S17 家) H25. 7. 30没
- 三木 敏子 様 (S20 家) H25. 12. 22没
- 竹内みづほ 様 (S14 家) H26. 1. 28没
- 江角 宣子 様 (S58 家住) H26. 3. 23没

平成27年度支部総会

平成27年6月14日(日)

風月堂ホール元町

JR・阪神「元町」駅 下車5分

佐保会設立百周年記念

支部特別企画

第一部 映像でたどる支部会員

『青丹よし 21世紀への伝言』パート2

23名の女高師卒の支部会員が映像と解説で紹介されました。長い間佐保会兵庫支部の活動に御尽力いただいた大先輩方です。戦後まもない神戸市で、初めて選挙で選出された教育委員として、兵庫県下で初めての女性校長として、幼児教育・障害児教育の現場で、そして難病の子供たちと向き合つてとそれぞれの立場で教育界で活躍された先輩方。まっすぐな姿勢で「日本の子供たちを育てているのだ」という自負をお持ちでした。「奈良は教育の原点を教えてもらった母校」との言葉が印象的でした。

食生活の大切さを訴え栄養指導、改善に尽くされた方、研究者として輝かしい業績を残された方、言葉を愛しみ、歌人として文学者として数々の執筆活動をされた方々。

生協活動、婦人会活動を通して、又、調停委員として社会に貢献された方々。

「同窓会は心のふるさと」「奈良あってこそ今日の私達がある」という思いの下に佐保会支部の財政的基礎づくり、多様な活動の発案、継続に尽力された方々。

男女共生、女性の地位向上を念頭に社会とのつながりを視野に入れ、謙虚に気負うことなく生涯現役の先輩達です。その幅広く、深いご見識にただただ脱帽でした。

第二部 川崎和子（S34理物）

佐保会前理事長の講演

「奈良女高師卒の先輩の後塵を拝して」

1. はじめに
2. 女高師卒の先輩との最初の出会い
3. 佐保会とご縁
4. これから

特に望月和子先生（S24理物）の存在は大きかった。男性中心の分野で、学び研究されているお姿に感銘を受け学問への道を決意した。そして今、なぜ女性研究者の問題を考えなければならぬか。その手掛かりとして三つのポイントを挙げる。①研究者としての女性の本質的能力 ②科学技術の発展に伴う社会情勢の変化 ③女性研究者の社会的役割。

- 女性が研究を続けるには、
- *やる気、実力、努力、体力が不可欠
- *物事に固執せず柔軟性を持つこと
- *自分で考え積極的に問題に取り組むこと
- *独創的な発想、思考力を養うこと
- *プライドを忘れないこと
- *仕事にはスピードが大切であり、失敗を恐れず、冒險精神を持って取り組むこと
- *女性としての優しさ、思いやりを持つこと
- IT革命などにより家事労働からの解放



研究分野の拡大など女性を取り巻く環境整備が進んでいる。こういった状況の変化をうまく生かしていくことが大切である。永い間理事長として佐保会活動にかかわってきた。佐保会活動の広がりが目指すものは社会貢献、国家教育への貢献である。海外を含めて、各地域に根ざした団体としての強固な絆を生かし、時代の変化に即して更に発展させていきたい。

当然のことながら、年齢層によって問題意識は異なっている。しかし、学年、専攻分野の枠を超えて生涯にわたる素晴らしい友人たちに巡り合えたことは、佐保会から受けた最大の恩恵である。校歌にも歌われた温故知新という言葉をかみしめ、奈良女の誇るべき質実剛健の精神を再評価したいものである。

望月先生、川崎先生とも女性研究者の問題への関心は高く、育成への提言をされています。望月先生は、女性研究者の数を増やすことだけを意図するのではなく、意欲ある女性が自由に誇りを持って研究できる社会の構築が重要であると主張されていたそうです。川崎先生の研究者として、また教育者としてのメッセージは、研究者を志す後輩に対してだけではなく、私達が生きていく上で広く示唆に富んでいます。少子高齢化の進む現在、世代を越えた「女子力」が重要な役割を担っています。これからどう行動していくか、宿題をいただいた講演でした。

(牧記)

平成26年度 新入会員 (40名)

学部等	氏名	地区	学部等	氏名	地区	学部等	氏名	地区
文歴史	中山 遼	芦屋市	理物	村上 朝子	宝塚市	生環住	岩井 ちひろ	三木市
文メディア	上畑 絢瑛	神戸市須磨区	理物	岸本 祐香	川西市	生環住	木村 早紀	宝塚市
文メディア	松村 明日香	川辺郡	理物	玉田 眸	篠山市	生環住	椎名 世理	尼崎市
文日垂	木村 香菜	姫路市	理化	鈴木 葉留奈	多可郡	生環文	尾崎 光	西宮市
文日垂	三田 知実	西宮市	理情	大西 佑佳	加古郡	生環文	木伏 奈那	伊丹市
文欧米	伊藤 麻美	西宮市	理情	増永 佑子	神戸市中央区	生環文	徳永 有佳里	尼崎市
文欧米	青木 千佳	川西市	理生	外山 欄子	神戸市西区	博前社	西園 都	神戸市須磨区
文欧米	井川 実紅	神戸市東灘区	理生	近藤 美紀	神戸市中央区	博前社	國岡 伸	神戸市東灘区
文欧米	菊永 実子	宝塚市	生環食	近藤 佳那子	三田市	博前生	橋本 明子	神戸市須磨区
文欧米	木邨 優花	神戸市垂水区	生環食	斉藤 二葉	神戸市灘区	博前食	平野 真実子	神戸市須磨区
文欧米	椎野 未夏	神戸市東灘区	生環食	阪本 芽衣	西宮市	博前住	新川 求美	神戸市東灘区
文心理	森田 真由美	伊丹市	生環食	中村 明日香	神戸市須磨区	博後社	北山 めぐみ	神戸市灘区
文スポ	戸田 友貴	川辺郡	生環健	吉澤 秋奈	宝塚市			
理物	海岸 美華	美方郡	生環衣	戸川 奈津実	神戸市須磨区			

(敬称略)

楳 (ゆずりは) の 会 平成27年度 (含26年度3月) 行事予定

月 日	内 容	会場・行先	時 間	講師(敬称略)	備 考
平成27年 3月26日(木)	「草の根の海外書道 文化 発信・美文字」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	川口 登美子	筆ペン・半紙持参
4月23日(木)	ヒトに棲みつく微生物 「常在菌」の話	神戸市勤労会館	13:00~15:00	長田 久美子	資料は準備します
5月28日(木)	歴史散歩 「白鷺城をめぐる」	姫路城・好古園	姫路神姫バス ターミナル 集合時間 10:00	埴岡 真弓	費用(入城料・昼食代) 2,500円程度 申し込み要
7月23日(木)	古典に親しむ 「伊勢物語-歌物語の世界」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	柳瀬 あや子	資料は準備します
9月24日(木)	食文化 「高齢者の食事」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	岸本 律子	資料は準備します
10月22日(木)	バスツアー 「秋の篠山を訪ねて」	篠山市	集合場所 三ノ宮・東急イン前 集合時間 9:00		費用 6,000円 昼食・入館料含む 申し込み要
11月26日(木)	美術鑑賞	美術館(未定)	13:00~15:00	学 芸 員	解説付き鑑賞 入館料実費
平成28年 2月25日(木)	ランチ・コンサート	ドンク 阪急岡本グルメ館	11:30~15:00	土田 景介 田中 靖子	参加費 3,500円 申し込み要
3月24日(木)	茶論(サロン) 「ゆずりは」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	参加者全員	・今関心のあることは? ・貴女の元気のもととは? ・お気に入りスポット 等色々な話題で茶論を!!

*事情により日時等変更することがあります。 *入会は随時 佐保会員以外の入会も歓迎 *会費 年間1,000円、当日のみ参加300円
*申し込み要 下記の運営委員、又は楳の会のEメール(yuzuriha@mlsaho-hyogo.girlfriend.jp)にご連絡下さい。
なお 年間行事の近々の予告や終了した内容は「佐保会兵庫東支部」のホームページにUPされていますので、ぜひご覧ください。

平成27年度 運営委員 片寄 眞木子(06-6433-1420) 山下 知子(078-822-0939) 田中 明子(079-492-0323)
永田 登喜代(079-423-5198) 鈴木 美根子(078-927-8532) 中井 昌子(072-781-9482)

旧甲子園ホテル(甲子園会館)見学

乾 登美子 (S36文社) (文・画)



4月24日
武庫川女子
大学准教授
三宅正弘先
生のお話を
伺い建物を
見学する会
に参加した。
旧甲子園ホ
テルは、帝
国ホテルの
総支配人、
林愛作の命
を受け、フ
ランク・ロイド・ライトの弟子、遠藤新が
設計。1930年、西宮の武庫川沿いに開
業。ライトの意匠を継承する、独創的名建
築。屋根には、淡路産の緑の瓦、素焼きタ
イルの壁、ホールの光天井に市松格子の障
子、シンボルの打ち出の小槌のオーナメン
トなど洋式建築に巧みに「和」の要素が取
り入れられ、華麗でモダンな姿は、東の帝
国ホテル、西の甲子園ホテルと並び称され
た。皇族、閣僚始め、文化人や海外の要人
が宿泊。大リーガーのベープ・ルースらも
利用。舞踏会では、山田耕筰がオーケスト
ラを指揮したと言われる。戦争中に国に接
収され、海軍病院となった。戦後は、進駐
軍に接収され、将校の宿舎に。1957年
進駐軍引き上げ後は、大蔵省の管理下に置
かれた。1965年、武庫川女子大学が国
から譲り受け、建築学科と大学院建築学専
攻の校舎として活用している。個人ではな
かなか見学しにくいこの名建築を素晴らしい
解説とともにじっくりと見ることができ、
至福のひとつを過ごさせていだいた。

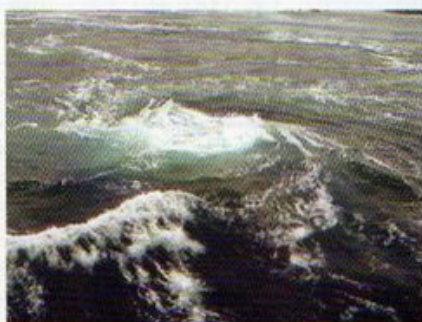
10周年記念バスツアー に参加して

稲津 美美子 (S45理動)

5月15日、楳の会バスツアーに参加し
ました。まず、国指定重要無形民俗文化
財の淡路人形浄瑠璃を鑑賞し、人形の早
替わりや裾捌きなど見事な人形遣いを見
せていただきました。

続いて遊覧船「威臨丸」に乗り、世界
一の規模を誇る鳴門のうず潮見学に出ま
した。この日の瀬戸内海は大変穏やかで
したが、大鳴門橋の下に差掛ると、辺り
一面激しいうねりと怖くなるほどの潮流
そして大きな潮の渦がいくつも生じては
消え、消えては生じ、嵐の海に引きずり
込まれたような錯覚を覚えました。

お昼には淡路島のたまねぎ尽しのラン
チに舌鼓を打ちながら皆様と楽しく談笑、
最後に淡路島公園で植栽を鑑賞し、おみ
やげを買って帰路につきました。充実し
た素晴らしい一日となりました。ありが
とございました。



ホームページ研究会

中村 京子 (S32 理物)

平成27年度は4回の「サロン・ド・パソコン」と、4回の「ホームページ研究」を開催します。サロン・ド・パソコンではスマホ、タブレットを中心に、ソフットの探し方、ダウンロード、インストール、整理の方法などを取り上げます。Facebookも、楽しいグループ作りも試してみましよう。アマゾンなどでの安全な買物の方法も必須です。ご希望があれば、「タブレットのPC化」「電子出版」なども準備しています。ホームページ研究1〜4へのご参加は自由です。気軽にお立ち寄りください。

**丸岡玲子氏による
恒例のパソコン講座**
「ITで開く新しい世界4」
平成27年3月2日(月)
14:00~16:00
場所:神戸市勤労会館
ITで開くさらなる世界
ご期待ください。

平成27年度 ホームページ研究会行事予定

月 日	内 容
平成27年4月15日(水)	アプリの探し方・安全なダウンロード
5月20日(水)	ホームページ研究1「ホームページビルダーをみる」
6月17日(水)	Facebook1「グループをつくる」
7月15日(水)	ホームページ研究2「ページの構成を考える」
9月16日(水)	Facebook2「グループを楽しむ」
10月21日(水)	ホームページ研究3「支部だより編集について」
11月18日(水)	アマゾンでの買い物
平成28年1月20日(水)	ホームページ研究4「トップページ作成」
3月7日(月)	丸岡玲子氏によるパソコン講座「ITで開く新しい世界5」 場所:神戸市勤労会館 時間:14:00~16:00

平成27年4月~平成28年1月の行事の場所・時間は以下の通り
場所:県立神戸生活創造センター(クリスタルタワー5F) 時間:13:00~15:00

もより会報告

松山 和子 (S45 理数)

北播磨地区「楽しく食事会&散策」
平成25年10月20日、3年ぶりに、兵庫県立フラワーセンターでもよりを開催いたしました。園内は優しい香りのバラが最盛期でしたが、雨空だったせいか来場者が少なく、静かなレストランでゆっくり食事をし、皆でおしゃべりを楽しみながら庭園を散策いたしました。今、その日6人で撮った写真を見ておりますが、初対面の方も含め皆さまが、以前からの友達のようにすぐ打ち解けることができたのは、多少時間差があるとはいえ、青春を同じ環境で過ごしたからでしょう。この心地よさと楽しさが、もより会なのだと思いました。

睦会報告

桂 美穂子 (S46 理植)

平成26年11月19日(水)、第39回「睦会」は、紅葉の見事な湊川神社の楠公会館で、37名のご参加(ご出席返事40名)で開催されました。支部長の岩崎雅美様のご挨拶に続き、中村京子様乾杯の音頭で会食が始まりました。和食のユネスコ無形文化遺産登録に思いを馳せ、周囲の皆様との会話をしみつつお食事を味わいました。会食後は、恒例の担当学年演出の「和やかお楽しみタイム」。まず、東日本大震災の被災地の復興を願い今も歌い続けられている「花は咲く」を田中明子様のリードで唱和。つづいて各テーブルの皆様の間力とお知恵拝借ゲーム。担当者各人が熟考し求めた品の値段を、各テーブルで相談して当てる「How much? priceクイズ」。各テーブルとも意見や質問が飛び交い、その様子を実況中継できなかったことを残念に思うほどの盛り上がりでした。最後に母校と企業が共同開発した奈良漬サブレをこの日のお土産に、秋里三和子様(S27文)のリードで女高師校歌を唱和して閉会となりました。



平成26年度 地区リーダー

地区	氏名	卒業年学部等	地区	氏名	卒業年学部等
神戸市	東灘区	長田久美子 S39 理生	阪神北	川西市	溝田 穂子 S32 文地
		松本佳代子 S44 文英		(川辺郡)猪名川町	谷口ミサヲ S41 文地
	灘区	梶木 典子 H15 博後生		三田市	森 由紀 S56 家修被
		田村由起子 H1 文教			岩崎 雅美 S44 家被
	中央区、兵庫区、長田区	高木 久子 S52 家食		明石市	吉岡恵美子 S50 文史
		本田 篤子 S57 文国			永田登喜代 S45 理数
	北区	村田 久美 S62 理生		加古川市、高砂市 (加古郡)播磨町・稲美町	田中 明子 S43 文幼
		浅井 直子 H2 理数			岸本 律子 S44 家修食
	須磨区	光上記久子 S35 文幼		西脇市、三木市、小野市、加西市、(多可郡)多可町	門脇 千里 S53 家食
		大橋 節子 S41 文英			
垂水区	八巻 和子 S50 理数	姫路市、(神崎郡)神河町・市川町・福崎町	桑名 友代 S54 文地		
	八百美知子 S54 理修生		三輪 朱美 S54 文英		
西区	山中 邦子 S53 文英	相生市、たつの市、赤穂市			
	新小田淑子 S59 理化		穴栗市、(揖保郡)太子町(赤穂郡)上郡町、(佐用郡)佐用町、		
尼崎市	片寄眞木子 S36 家食	但馬	豊岡市、養父市、朝来市、(美方郡)香美町・新温泉町		
	甚目 紀子 S50 文国		米田 純子 S40 理動		
西宮市	溝端 玲子 S41 文地	丹波	篠山市		
	石塚 明子 S44 文国		小林 嘉子 S37 家被		
芦屋市	池澤 直子 S49 理化	丹波市	三角三紀子 S44 理数		
	岡本 京子 H1 家修生	洲本市、南あわじ市	奥田 敦子 S52 文国		
伊丹市	三上 孝子 S50 家被	淡路	淡路市		
	安田 恵子 S57 理修生				
宝塚市	村井 和子 S44 家被				
	稲津美美子 S45 理動				

地区リーダー会報告

松本 佳代子 (S44 文英)

平成26年8月24日、神戸市勤労会館で第20回を開催。18地区のリーダー・棟の会・ホームページ研究会・睦会の各代表、支部だより編集委員と事務局計33名が出席。冒頭、支部長より、先週豪雨に見舞われた丹波地区の会員のご無事が確認された旨、報告あり。改めて阪神淡路大震災の罹災状況確認後に第1回地区リーダー会が開かれた歴史を思い起こし、「遠くの親戚より近くの佐保会員」の言葉をかみしめた会となった。その後各地区の活動報告や課題の共有、情報交換に熱い時間が過ぎた。

物探訪

織りなす魅力ある町

① S字橋【宝来橋】

阪急宝塚駅前から武庫川の対岸の、宝塚温泉や、ホテル若水側にかかっている橋。
1995年の阪神淡路大震災は、阪急宝塚駅から宝塚大劇場にかけての商店街と対岸の温泉街に、壊滅的な被害をもたらした。市は、この時をきっかけに駅周辺の再開発に乗り出し、震災前の様相は一変した。木造だった宝来橋もこの折にコンクリート製のS字型になった。
橋のたもとに、歌が刻まれた石碑がある。
武庫川の
板の橋をば
ぬらすなり
かじかの声も
月の光も
鉄幹と共に宝塚を訪れた与謝野晶子が詠んだもの。



② 全壊ハウス 湯本町4・29

阪神淡路大震災で全壊判定を受けた実家を改装し、木造の長屋に鉄骨フレームを挿入、補強して蘇らせた建物。持ち主は、関西で有数の建築家の宮本佳明（カツヒロ）で、ご自分の建築事務所として利用している。

⑧ 宝塚大劇場

宝塚歌劇団の本拠地であり、星、月、雪、宙、花の5組による公演で年間100万人以上の観客を動員する。座席数は、25550。
1924年開場。宝塚歌劇団は1927年日本で初のレヒュー「モン・パルク・吾が巴里より」を上演して以来、レヒュー作品を次々上演して黄金時代を迎えた。天津乙女、春日野八千代、霧立のぼる、轟有起子を始め、戦後は、乙羽信子、越路吹雪、淡島千景、久慈あさみ、南悠子、月丘夢路等のスターが、戦争で傷ついた人々の心を癒した。1950年代から60年代にかけては、寿美花代、有馬稲子、新珠美千代、浜木綿子、八千草薫、扇千景らが活躍。1974年「ベルサイユのばら」が爆発的にヒット。鳳蘭、榛名由梨、汀夏子、安奈淳、松あきら等が活躍。80年代は、麻美れい、大地真央、黒木瞳、剣幸などを輩出した。大劇場は老朽化のため1992年11月閉鎖、建替え。1993年開場。安寿ミラ、一路真輝、天海祐希らが活躍。阪神淡路大震災で被害を受けるも、3月には復興を果たした。2014年4月に宝塚歌劇団は創立100周年を迎えた。

栄町1・1・57



⑦ 阪神競馬場

創業は、1907年。関西競馬倶楽部が設立され、その後紆余曲折を経て、1949年、現在の場所に阪神競馬場が竣工した。第1回の「宝塚記念」の開催は1960年6月26日。
阪神淡路大震災で大きな被害を受け、レースは代替地での開催を余儀なくされたが11カ月後に修復を完了した。
GIとして、桜花賞、宝塚記念、阪神ジュベナイルフィリーズ、朝日フューチャーリテイステークスの4レースが開催される日本屈指の競馬場である。
家族連れでピクニック気分を味わえる、くつろぎのスペースも整っている。

駒の町1・1



⑥ カトリック宝塚教会

南口1・7・7

1965年に建てられた教会。設計は村野藤吾。東の丹下、西の村野と称された、昭和の日本の建築界の双璧の一人。晩年、宝塚に居を構えていた関係から依頼されたものと思われる。建物はハイヒールを裏返して



宝塚建

自然・歴史・文化

③ 宝塚ホテル

梅野町1・46

阪急阪神第一ホテルグループの系列のホテルで、創業は、1926年。旧館は、創業時の建物（古塚正治設計）。

2005年、県指定景観形成重要建造物となった。

小林一三は武庫川の畔に位置する風光明媚な宝塚を温泉リゾート地として開発し、小さな寒村に過ぎなかつた宝塚を、大阪の奥座敷として変貌させた。地元の人達の社交的な役割を担っている。



④ 宝塚市役所

東洋町1・1

1980年9月竣工。村野藤吾（註）89歳の時の設計で地上6階、地下1階。玄関を入つてすぐの市民ホール吹き抜けや建物上部にある円形の議場、各階のバルコニーなどが大きな特徴。

阪神淡路大震災では大きな損傷を受けることなく、被災者支援の拠点となった。

宝塚市は兵庫県の南東部に位置し、1954年4月に良元村、宝塚町が1つになって市が誕生。翌年、長尾村と西谷村も合併し、現在の市域がほぼ確定した。2014年、市制60周年を迎えた。発足当時4万人だった人口は、2014年8月現在で22万8千人になっている。市の花は「すみれ」。



（註）
建築家 村野藤吾について。
佐賀県、唐津市出身（1891～1984）早稲田大学卒。代表作に、日生劇場、広島世界平和記念聖堂、旧そごう大阪店、兵庫県立原田の森ギャラリー、新高輪プリンスホテル、新歌舞伎座（大阪）、カトリック宝塚教会等々が有り、作品は、優に70件以上に及び。受賞歴は、文化勲章、日本芸術院賞、日本建築学会賞など。90歳を超えても創作意欲は衰えず、死の前日まで仕事をしていたといわれる。

⑤ ナチュールスパ 宝塚

宝来橋たもと

ナチュールスパ宝塚は、2002年1月「クリスタルスパ・リゾート」という名称で開館。建物は、建築家・安藤忠雄の設計。第3セクターの宝塚温泉株式会社が開業する温泉施設であったが、翌年6月、経営破綻し閉館。2004年9月、再開を望む声に後押しされ、「ナチュールスパ宝塚」と名称を変更し、公設民営型温泉健康施設（日帰り入浴施設）としてリニューアルオープンした。

さらに2006年の改装が功を奏し、週末、連休、夏休み等は、子供連れの家族や登山帰りの人々、宝塚歌劇の観客などで賑わっている。

利用料金は、女性1020円、男性820円。右記料金の追加800円（60分）で、岩盤浴もできる。武庫川に面した地下には、オーガニック・イタリアンレストランも併設されている。



白鯨をイメージしたとも云われている。阪急電車の線路脇にあるので、全体像を見るのが難しい。



トリプル周年 を記念して!!

2014年宝塚市は、宝塚歌劇100周年、市制60周年、手塚治虫記念館20周年を迎えました。この喜ばしい記念の年に因んで、宝塚について、楽しく紹介させていただきます。

宝塚歌劇100周年と大輝真琴

伊藤 朋子 (H17博後比)

2014年1月1日、宝塚歌劇100周年の記念すべき年の始めの朝、わが娘、大輝真琴(星組・91期生)は、紋付き袴姿で、劇団の拝賀式へと出かけていきました。思えば、15歳の最年少で、宝塚音楽学校の門をくぐり、厳しい規律の中で、何度も泣いては立ち上がり、舞台人としての基礎を学び、その2年後には、初舞台を踏み、男役として、彼女の青春の全てを宝塚にかけてきました。親としては「まだまだ子ども」と思っているうちに、今年で、「男役10年」を迎え、テレビにも出演し、わが子であってわが子でないような、タカラジェンヌへと成長しました。ここまでの道のりは、彼女にとって、決して平たんなものではなく、舞台人の厳しさを十分に味わってきましたが、それが肥やしとなり、人間としても大きくなったように思えます。

新年の宝塚大劇場公演は、小池修一郎先生の脚本・演出、柚希礼音さん主演の「ナポレオン―眠らない男」でした。娘は、ルーブル美術館にある「ナポレオン



の戴冠式」を描いた画家のダビッド役でした。年末から、ダビッドに関する資料を取り寄せて、丹念に研究し、役作りをしていました。このようにして、彼女は、いつも、全身全霊で、役作りに取り組み人としても成長してきたんだな...と思うのです。

1月1日は、恒例の歌劇団鏡割りに始まって、いよいよ、星組の舞台の幕が開きました。柚希さんの颯爽としたナポレオンに感動し、大輝真琴の歌、芝居、ダンスなど、男役10年の晴れ姿をしつかりと目に焼き付けて初日の幕が無事下りしました。また、1月には、テレビの「SMAP〜SMAP」にも出させていただきました。

4月には、秋篠宮両殿下を迎えての記念式典があり、大輝真琴も歌で舞台上に立ちました。往年のスターが勢揃いし、とても華やかな舞台でした。宝塚歌劇は、青春の一番美しい時期にそれぞれの全精力を捧げた乙女の集まりなんだと思います。だからこそ、その仲間は永遠であり、何時会っても、姉妹のように特別な関係でいられるのでしょう。

懐かしの宝塚歌劇団

元タカラジェンヌにお聞きして

聞き手・乾 登美子 (S36文社)

10月某日、逆瀬川沿いにあるN夫人(40期生)のお宅でお話を伺いました。お若いころの美しさを彷彿させるような輝きをもっておられる、素敵なお婦人でした。

私は広島県出身で、昭和27年3月に宝塚音楽学校の試験を受け、合格しました。同郷の1年先輩が前年入っておられたので、私も思ったのです。元からパレーや声楽は習っておりました。受験科目は、声楽(課題曲・前もって譜面を渡されている)、演劇、バレエ、モダンダンス、面接などで、3日間かけて行われました。合格者は60名。同期に浜木綿子さんがいます。(今年の合格者は40名で、倍率は27倍だったとか)入学時、15、16、17歳とバラツキがあるので、年齢別に3クラス(A、B、C)に分けられました。音楽学校の授業は、社会科、国語、英語と演劇、声楽、ダンス(バレエ、タップ、モダン、日舞など)、ピアノが必須でした。理数系は有りません。

自宅から通えない生徒は、寮に入ります。その頃の寮には、お炊事もお掃除もして下さる方が居て、今の様に自炊という事はありませんでした。今の寮は老朽化したため、現在、元ファミリールンドのあった所に新しい寮が建設中です。門限は11時で、割に自由な時間があります。学校外の個人レッスンを受ける方も多かったです。音楽学校の生徒は予科生、2年後歌劇団に入ると本科生と呼ばれ、成績順が貼り出されます。練習は厳しく、10時頃までかかったりいたしました。労働組合も結成されております。入団時は基本給が支給されますが、役によって手当が付きまます。組長手当なども有ります。役をつけるのも、トップを選ぶのも全て歌劇団からの指名です。勿論成績が大きく影響しますが、オーディションをすることも有ります。舞台上使用する化粧品は特殊(ドーランなど)で、指定された

ものを買わなければなりません。アクセサリーの類もすべて自前なのです。星、花、月、雪、宙の5組があり、宝塚大劇場を始め、パウホール、東京宝塚劇場、梅田芸術劇場、名古屋、博多、新潟などの地方や、海外などの公演をこなしています。1公演は1ヵ月半掛けて行われ、ひと組は60名で結成されています。専科もあり、特にダンス・日舞などに優れた方がなられます。定年は60歳です。途中から他の芸能関係の事務所所属する方、映画女優になる方、ミュージカル女優になる方など様々ですが(最近では、吉本に所属される方も)、ご自分でバレエ教室やシャンソン教室などを開いたりもなされています。卒業生は宝友会という同窓会を作っていて、先日100周年記念同窓会が大劇場で盛大に開催され、沢山の有名なスター、女優達も集まりました。昔は小さな方もおられました。現在は、身長が最低161センチないと入れません。男役では、180センチあるような方も珍しくありません。見栄えしますよね。

私は24歳の時結婚し、在籍5年で退団いたしました。苦楽を共にした同期の方々は本当の姉妹のようで、今でも仲良くお付き合いしており、入団50年目に同期生会があり、大勢の人達が集まり旧交を温めました。宝塚歌劇団は、私にとって故郷のようなものです。

宝塚市主催「歌劇の街でカンゲキツアー」参加

宝塚文化創造館で、OG(84期生)の精華れいさんによるフィナーレ振付のにわかレッスンを受けました。シャンシャンを持ち、歩いたりポーズを取ったりして、ちょっと「その気」になりました。



手塚治虫記念館

〜20周年おめでとう〜

佐藤 慶子 (S43文英)

手塚治虫作品と言えば、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。世代による違いこそあれ、「鉄腕アトム」「リボンの騎士」「ブラックジャック」「火の鳥」「ジャングル大帝」「ふしぎなメルモ」「ブッダ」と尽きない位の作品が挙げられますね。手塚氏は少年時代を田畑の残る自然豊かな宝塚で過ごし、昆虫取りに夢中になったり、科学や宇宙などに興味を持つたりしたようです。

母親に宝塚歌劇に連れて行ってもらったり、医学を目指したりしたことも手塚作品に多大な影響を与え、そこからいろいろなテーマが生み出されたと思われるです。

記念館の入り口に入った途端に手塚漫画の世界に引き込まれ「自然への愛」「生命の尊さ」などをテーマとした夢と希望にあふれる空間の創造に触れることがで



きます。実際に漫画を作る楽しさも体験できます。

宝塚駅から8分、武庫川の近くに「ガラスの地球」をシンボルとした古城のような記念館の塔と火の鳥の像が私たちを出迎えてくれます。



植木のまち宝塚の歴史を

ちよっぴり紹介!

稲津 芙美子 (S45理動)

★宝塚は「歌劇のまち」として全国的に有名であるが、一方で、植木のまちとしても栄えてきた。特に山本地域(山本・丸橋・口谷)は花卉・植木生産地として古い歴史を持つ。毎年、市主催の「花と緑のフェスティバル」で苗を買ってささやかな家庭菜園を楽しんでいる私は、その「大変古い」という歴史に興味を持ち、調べてみることにした。

★宝塚市花卉・園芸協会発行の『山本と牡丹』の中に古い記録を見つけた。「応神天皇20年(4世紀末)、百濟から阿智王という倭漢族の頭梁が大勢の民を率いて日本に帰化した。新型織機による機械り

を広めた恩賞に猪名県(北摂地域)を賜り、そこで機械り材料の綿、麻、養蚕のための桑、漢方薬草の牡丹や芍薬、菖蒲などを栽培した。」と記されている。宝塚(山本)園芸の始まり(濫觴)とも書かれていた。

★阿智王に続く系譜をインターネットで調べると、孫の代で坂上姓となり、直系の11代目に坂上田村麻呂の名があった。意外な発見だった。山本地域を散策中、「坂上」や「阪上」の姓の表札のあまりの多さに圧倒された。いくつかの神社に足を運んだ。坂上田村麻呂を祀る松尾神社にも参拝。

★安土桃山時代に、山本莊園の荘司だった坂上頼泰が「接木法」を発見し、花期の延長や、果実をより甘くよりおいしくする技術などを習得。豊臣秀吉がこの男に「木接太夫」の名を与えた。(阪急山本駅前に木接太夫彰徳碑がある。)天下を平定した秀吉が贅を尽くしたとされる大坂城、聚楽第、伏見桃山城などの造営に際して、山本の地から園丁数百人が出向したという記録があった。



★小浜宿と京・伏見を結ぶ京・伏見街道が今も山本地域を東西に走る。秀吉もこの街道を通って小浜宿を訪れ、さらに有馬の温泉地に足を延ばしたらしい。



★都市化に伴って園芸農家の縮小が進む中、山本地域の花弁・植木栽培は新しい発想と技術を取り込みながら受け継がれてきた。全国有数のダリア生産地「宝塚ダリア花つみ園」(宝塚市北部の上佐曾利地区)、山本の地から薬草や観賞用として出荷されてきた歴史のある全国の有名な牡丹園から里帰りした株が毎年立派な花を咲かせる「長谷牡丹園」、市内の個人のお宅や事業所などが自慢の庭を公開し、無料バスも巡回する4月下旬の「オーブングーデンフェスタ」、さらに「兵庫県・宝塚観賞植物品評会」「宝塚植木まつり」など、伝統を受け継いだ特色ある施設やイベントが今も充実している。

★多くの資料を読み、山本地域を何度も散策する中で、ここには書ききれないたくさんの発見や驚きがあった。もともとつと地元を調べてみたいという思いを強くしている。

支部だよりに寄せて

「アン」のゆりかご」

村岡花子の生涯

村岡恵理 著

向山 安子 (S35家住)

「赤毛のアン」(村岡花子訳)を、読んでおありでしょうか？ 私の高校時代の読書感想文で、1位になったのが、この本でした。私の貧しい女子大時代は、リンゴ箱に紙を貼って本棚にし、その中に「赤毛のアン」の文庫本を7冊入れました。女子大の友達数人と若草山に登って、皆で「ギルバートみたいな恋人が欲しい」と言ったこともありました。映画にもなり、カナダの景色を楽しみました。東京大森の「赤毛のアン記念館・村岡花子文庫」に長女と訪ね、お孫さんお2人にお会いして、色々お話を伺いました。「花子とアン」の連続テレビ小説が4月に始まり、長谷川町子の「マア姉ちゃん」以来数10年ぶりに楽しみました。

数年前に購入した「アン」のゆりかご」も、読み直しました。この本には、単なる「赤毛のアン」に関するだけでなく、女性解放の歴史に関わった、たとえば、神近市子、与謝野晶子、林芙美子、平林たい子、宇野千代、古屋信子、宮本百合子、市川房江、また、家族計画のサングァー女史も出てきます。ヴォーリスの

建築、大逆事件、ヘレンケラーやパールバックとの会見など、まさに昭和史そのものです。「赤毛のアン」のBRDも出て、私の孫娘それぞれにプレゼントしました。女性四代で楽しむことが出来ました。他に、村岡花子の訳で、パールバックの「母の肖像」があり、訳者は、最も深い感動をもって読み終えた本だと述べています。私にとっても長い間の愛読書となつていきます。パールバックが、母の中国での宣教の苦勞の歴史を綴つたこの本は、村岡花子が単に、少女小説の訳者ではないことを教えてくれます。私はあまり勉強熱心ではなかったけれど、女子大の寮で出来た生涯の親友(腹心の友)と、今もこのような本を回し読みしながら、ささやかな幸せを感じています。



市丸 佐和子 (S29文社)

言葉の力と心の力

久田 芳美 (H2国文)

私は現在大阪の企業に勤めながら、「心」について学び、「話を聴くプロ」である心理カウンセラーとして活動しています。具体的には、老人介護施設の入居者のお話を聴くというボランティア活動や、メールカウンセリング等、土日を中心に続けています。

「心」について学び始めたのは、私の身近な友人、親類、あるいは職場の同僚が次々と「メンタル不全」で倒れ、私自身、そのことに対して何もできない無力感、自分もなるかもしれないという不安を強く感じたことがきっかけでした。

「心」について学んで知ったことは、「人間は、誰でも、何歳になっても成長することができる。そして、自分の中に回復する力を持っている。」ということでした。

そしてカウンセリングを学び改めて「言葉の力」を感じました。私は今まで周りの人の言葉はもちろん、小説や映画のセリフに、詩の1行にどれだけ感動し、教えられ、励まされてきたことか。大学で文学を学び、たくさんの言葉に触れたことは人生の大きな財産となり私という人間の基礎になっているとつくづく感じます。

心理学では「過去と他人は変えることができな」といいます。そして「自分

そして未来はいつでも変えることができる」のです。自分自身の人生に敬意を払い、自分らしい人生を生きる為に、一歩踏み出すためのお手伝いを、これからのライフワークとして続けていきたいと思つていきます。

奈良女での学びを活かして

森本 宜子 (H22生環文)

私の人生の中で大きな支えとなつているのは、仲の良い家族との豊かで健康的な生活です。最も身近な学問である家政学を志望したのは、自身の元気の源を探りたいと思つたことがきっかけであり、高校時代、恩師の薦めで奈良女子大学に出会いました。

生活環境学部生活文化学科に入学後、現在佐保会兵庫支部長として活躍されている岩崎雅美先生に、ご退官前の最後のゼミ生としてご指導頂きました。家庭と仕事を両立されながら、いつもきちんとした身だしなみで、いきいきと笑顔で講義をされていた先生は、先輩としても憧れの存在です。

大学での被服学実習をきっかけに「繊維」に興味を持ち、現在は不織布メーカーの購買部に所属し、国内外から原料調達を行っています。入社前は特に海外に対する興味がなく、英語も苦手でした。しかし入社後、当時の顧問役から頂いた

「考え方の古い繊維業界で女性が活躍し

ていくためには、英語のスキルを身につけることがきつとあなたの一番の強みになるはずだ。」との助言により、英会話を学び始め、会社でも英会話クラブを立ち上げました。まだまだ不十分ではあります。今では海外へのメールや、交渉時に片言でも英語で交渉することができるようになり、海外出張の機会も増えています。

女子高等師範学校時代からあらゆる方面で「社会で活躍する女性」の先駆けとなられた先輩方。総会や宝塚もより会で目にかかるたびに、教養の高さとパワーに圧倒されます。私も卒業生として、自然とその背中を追っているような気がします。

奈良女子大学との縁えにし

菊永 容子 (H23文)

私が奈良女子大学を卒業してから、大学で過ごした濃密な4年間と同じだけの時が経とうとしています。年々、時間の流れの速さには驚かされます。

そもそも私が奈良女を選んだ理由というのは、残念ながらここに華々しく書くことができるような立派で感動的なものではないです。「是非この大学で！」という熱い思いや、確固たる目的を持ってこちらの大学を選ばれた先輩方や同輩、後輩もたくさんいらっしゃる中でお恥ずかしい話ですが、中高一貫のそこそこの

進学校に通っていた私は、「大学進学は当たり前」。自分の進路について深く悩むこともなく、周りと一緒に受験勉強をし、縁あって奈良女子大学に進学しました。しかし入学後、自分と奈良女を結び付ける思いもよらない縁を知ることになりました。

私の曾祖母は宮崎県の生まれなのですが、その曾祖母がその昔、奈良女子大学の母体である奈良女子高等師範学校に入学が決まっていたというのです。当時の時代背景を考えると、宮崎の片田舎の女子学生が、わざわざ故郷を離れて進学を目指すというのはかなり稀なことですが、歳をとってからも、曾孫の私から見てもかなりの勉強家で頭の切れる才女であった曾祖母。当時も「どうしても進学したい」という強い意志を持っていたそうです。念願叶って進学が決まっていた師範学校だったので、結局家庭の都合で進学を断念せざるをえませんでした。私はそのような事情を知る由もなく、大学を選び、受験したのですが、奈良女への進学が決まった際は、曾祖母はもちろんのこと、曾祖母の思いを知っていた親戚中が喜んでくれました。その曾祖母は平成26年4月、105歳という天寿を全うして亡くなりましたが、80年以上の時を越えて、私と曾祖母を特別に結び付けてくれた「奈良女」の歴史の長さや伝統に、改めて感銘を受けるとともに、何気なく進学した奈良女子大学と自分との間に強い「縁」を感じます。

納得のゆく解決をめざして

奥山 佳世 (S48家修住)

夫婦関係を続けるのは大変だとつくづく思う。破綻寸前の夫婦に離婚を思いとどまってもらうのはむずかしいが、せめて「よい離婚をしてほしい」と願いながら、家事調停委員を務めている。

大抵の当事者は、相手が悪い、自分は何もしていないと言いつ張るが、その状態がいつまでも変わらないと、話はまとまらない。まず双方の言い分をとことん聴く。

「妻は帰省してもずっと自分の実家に入り浸り、僕の母に孫を見せに来ても半日がせいぜい。妻の両親から嫁に出した覚えはないと言われた」と夫が言えば、妻は「夕食事の楽しい会話が全くない。夫が話すのは法事のことくらい。夫が何を考えているかわからない」と言い放つ。夫婦は同郷で幼い子どもが1人いる。互いの家族観がこんなにも違うという事実を丁寧に説明し、それは結婚する前の40年間で培われたものだと言えど、相手への攻撃の手が少し緩んだ。

新居に移り幸せになるはずが、逆に暗雲が立ち込めたという夫婦がいる。「生活が苦しいのは妻のやり繰りが下手だから」という夫。「夫の小遣いを減らす約束だったのに」という妻。手取り月収30万円のうち9万円を住宅ローンに回しているというので、「家の空気を重くして

いる原因は住宅ローン。収入から見ると月7万円がローンの限度で、それならだいたいぶ楽でしょう？」と水を向けると、2万円浮けば小遣いも増えるし(夫)、外食にも行けそう(妻)と納得顔であった。中には、こちらの説得に応じて、調停を取り下げた若いカップルもいる。家族のライフサイクルを念頭に、今を乗り越えれば後は楽になるという話をするのと、考え直してくれたのである。

家事調停には関係法規や人間関係諸分野の知識が必要だといわれているが、加えて生活をトータルに捉える視点を持っていると、より説得力のある(当事者が耳を傾けてくれる)説明ができることがある。家政学(家庭経営学)を学んだ者にとつて、専門知識が役に立ったと感じる瞬間である。

神戸家裁(本庁・支部)の調停委員の中で、佐保会員が少なくなっていくのを寂しく思う。出身学部を問わず、40才以上のみならず、調停委員として働いてみませんか。



まろしゅ

市丸 佐和子 (S29文社)

事務局だより

平成26年度 佐保会兵庫県支部役員・各委員等

役職名	氏名	卒業年学部	地区
支部長	岩崎 雅美	S44家被	明石市
副支部長	中井 昌子	S43家食	伊丹市
庶務	山下 知子	S39理物	神戸市東灘区
	古山美智子	S40理数	神戸市西区
	松本佳代子	S44文英	神戸市東灘区
会計	村田 好子	S39家食	小野市
	橋本 陽江	S50理修化	明石市
会計監査	福永ヒロミ	S45家被	姫路市
	出田美栄子	S45文教	姫路市
模の会 運営委員 (○印代表)	○田中 明子	S43文幼	加古郡
	片寄眞木子	S36家食	尼崎市
	山下 知子	S39理物	神戸市東灘区
	鈴木美根子	S42家食	神戸市西区
	中井 昌子	S43家食	伊丹市
	大塚かよ子	S44文幼	姫路市
	永田登喜代	S45理数	加古川市
ホームページ 研究会 運営委員 (○印代表)	○中村 京子	S32理物	神戸市東灘区
	山本よしみ	S33家食	神戸市西区
	片寄眞木子	S36家食	尼崎市
	衣笠 弘美	S41文体	神戸市北区
	鈴木美根子	S42家食	神戸市西区
	桂 美穂子	S46理植	姫路市
	丸岡 玲子	S53理数	明石市
一般社団法人 佐保会代議員	中村 京子	S32理物	神戸市東灘区
	山下 知子	S39理物	神戸市東灘区
	村田 好子	S39家食	小野市
	酒居 淑子	S42家住	伊丹市
	中井 昌子	S43家食	伊丹市
	岩崎 雅美	S44家被	明石市
	松本佳代子	S44文英	神戸市東灘区
一般社団法人 佐保会理事	橋本 陽江	S50理修化	明石市
	瀬川 順子	S41文英	神戸市中央区
	片寄眞木子	S36家食	尼崎市

一般社団法人佐保会代議員、理事の任期はH26.8.1～H28.7.31

平成25年度事業
 平成26年度事業
 平成27年度事業
 平成28年度事業
 平成29年度事業
 平成30年度事業
 平成31年度事業
 平成32年度事業
 平成33年度事業
 平成34年度事業
 平成35年度事業
 平成36年度事業
 平成37年度事業
 平成38年度事業
 平成39年度事業
 平成40年度事業
 平成41年度事業
 平成42年度事業
 平成43年度事業
 平成44年度事業
 平成45年度事業
 平成46年度事業
 平成47年度事業
 平成48年度事業
 平成49年度事業
 平成50年度事業
 平成51年度事業
 平成52年度事業
 平成53年度事業
 平成54年度事業
 平成55年度事業
 平成56年度事業
 平成57年度事業
 平成58年度事業
 平成59年度事業
 平成60年度事業
 平成61年度事業
 平成62年度事業
 平成63年度事業
 平成64年度事業
 平成65年度事業
 平成66年度事業
 平成67年度事業
 平成68年度事業
 平成69年度事業
 平成70年度事業
 平成71年度事業
 平成72年度事業
 平成73年度事業
 平成74年度事業
 平成75年度事業
 平成76年度事業
 平成77年度事業
 平成78年度事業
 平成79年度事業
 平成80年度事業
 平成81年度事業
 平成82年度事業
 平成83年度事業
 平成84年度事業
 平成85年度事業
 平成86年度事業
 平成87年度事業
 平成88年度事業
 平成89年度事業
 平成90年度事業
 平成91年度事業
 平成92年度事業
 平成93年度事業
 平成94年度事業
 平成95年度事業
 平成96年度事業
 平成97年度事業
 平成98年度事業
 平成99年度事業
 平成100年度事業

平成25年度収支決算報告、平成26年度収支予算

科目名	支出の部 (円)	
	平成25年度決算	平成26年度予算
本部会費	741,000	750,000
総会補助費	94,450	100,000
通信費	216,766	250,000
印刷費	33,951	30,000
交通費	106,340	150,000
事業費	支部だより作成費	200,000
	総会補助	70,000
	模の会補助	70,000
	ホームページ研究会	30,000
	地区リーダー会	50,949
もより会補助	97,900	120,000
慶弔費	97,220	100,000
事務費	122,357	170,000
予備費	0	0
小計	1,930,933	2,110,000
次年度繰越	4,693,894	4,474,394
合計	6,624,827	6,584,394

科目名	収入の部 (円)	
	平成25年度決算	平成26年度予算
前年度繰越	4,717,666	4,693,894
本部会費	741,000	750,000
支部会費	1,045,000	1,050,000
貯金利息	201	500
本部より補助	90,960	90,000
雑収入	0	0
寄付	30,000	0
合計	6,624,827	6,584,394

<ご寄付いただきありがとうございました。>

編集後記

宝塚歌劇100周年、宝塚市制60周年、手塚治虫記念館20周年というタイムリーな年に宝塚地区が「支部だより」の編集を担当いたしました。私達は「トリプル」周年記念的内容を念頭に置いた「特集」として、関連した事柄を4ページにまとめました。資料集めや聞き取り、見学などを重ねる中で多くの発見があり、ワクワクしながら作業を進めることができました。

また、編集に携わることで、先輩諸師のご尽力によって支えられてきた佐保会100年の歴史の重みを実感いたしました。皆様のご理解とご協力を頂き、ここに支部だより38号をお届けすることができましたこと、編集委員一同、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

編集委員【稲津・乾・奥山・佐藤・久田・牧・村井】

資産内訳 (平成26年3月30日現在)

定額郵便貯金	2,450,000円
郵便貯金	694,681円
振替貯金	597,009円
現金	952,204円
合計	4,693,894円

佐保会兵庫県支部のホームページのURLです。 <http://saho-hyogo.girlfriend.jp/>